

合格体験記

小澤 啓佑

【はじめに】

2022年度2次筆記試験に合格した小澤と申します。2次筆記試験は2回目の受験で合格することが出来ました。1回目の受験の際は、1次試験に合格したことで燃え尽きてしまい、あまり勉強に身が入らず呆気なく大敗いたしました。このままではきっと2年目も不合格になると思い、予備校選びをスタートし、結果的にMMCを受講することを決めました。なぜMMCの受講を決めたのか、またMMC受講後の最初の事例1の答練で最下位でしたがどんな学習をして合格に至ったのか、下記にて記載いたしますので中小企業診断士受験生の予備校選びの一助になれば幸いです。

【二次試験受験歴】

1年目（2021年度）：1次・2次の対策講座がある大手予備校を受講

1次試験合格

2次試験不合格（結果が悪いことが分かりきっていたので、得点開示せず）

2年目（2022年度）：MMC（通年コース+財務オプション）を受講

1次試験未受験

2次試験合格

【MMCを選んだ理由】

私がMMCを選んだ理由をいくつか記載させていただきます。

① 自分でも作成できそうな解答及び解答プロセスだったこと

2次試験は何を書いたら正解がわからず、予備校が出している解答でもばらつきがあり、本当の正解は何か分かりません。MMCの受講説明会やMMCで合格した知り合いの方の話の中で、キーワードと型で解答を作成するという話を聞き、自分でも解答を作成できるかもしれないと思いました。実際に答練の中で、難しい問いでもキーワードと型を使うことで最低限の解答は作成できるようになりました。（事例数を熟すことで自然にキーワードと型を身につけることが出来ました。）

② 2次試験の合格率が高いこと

予備校選びの重要な指標として考えていたのが、2次試験の合格率です。合格率が高め

れば高いほど自分の合格率の向上にもつながると思いました。受講説明会の際に、多少ばらつきはあるものの、合格率は4割を超える年度もあると聞きました。また、実際に知り合いの方も MMC で合格していたことも決め手となりました。

③ 解答へのフィードバックが充実していること

講座ではさまざまな事例演習を解きますが、自分が作成した解答へのフィードバックを得る時間が確保されています。そのフィードバックの中で、切り口や抜け漏れなど解答作成に重要なプロセスを確認できます。また、個別でのフィードバック時間になるので、学習に関する相談や質問に真摯に対応いただけることがメリットだと感じました。

【学習方法】

私の1年間の学習方法を紹介させていただきます。

① MMC で解いた事例演習の復習

演習で解いた事例の解答は、翌週には採点されフィードバックを受けることが出来ます。そのフィードバックを受け、自分が作成した解答には何が不足しているのか、もう一度問われた時に解答から漏れないようにするには何が必要かなど6割を下回った問題を中心に復習しました。

② MMC の教材だけを解く

いざ MMC を選んで受講しても、本当に①でやっている復習だけで良いのか不安になることもありました。本屋に行き、2次試験対策の本を購入しようと考えたこともあります。ただ、MMC の解き方と他で紹介されている解き方が違うため、どちらを信じて良いか分からなくなると感じました。また学習に使える時間も限られており、MMC の教材だけに絞り勉強することにしました。

③ 過去問を少しだけ解く

上記で MMC の教材だけと言いましたが、過去問だけは少し触れました。どのくらい過去問を活用したかという点、5年分触れました。実際やった学習は、①設問を読む、②キーワード+型は思い浮かべる、③MMC が出している模範解答を確認し解答の方向性をチェック、④事例文のどの箇所から解答を引っ張っているか確認する、を行いました。(④は過去3年分のみ行いました。また、実際に80分かけて過去問は解きませんでした。)

④ 事例4は毎日解く

事例4に関しては、毎日解いても良いと思います。その理由は、事例1~3でも同様ですが、事例4は特に解く手順を染み込ませるためです。解く手順を定着されることで、ケアレスミスの軽減や、財務会計への耐性が出来ると感じました。MMCの事例や財務オプションの問題集で相当な問題数があるので、それら同じ問題をひたすら解き続けました。

【2次試験の合格に重要だと感じたこと】

2次試験に合格することが出来ましたが、以下が重要だと感じました。

① 何を学習するかと同じくらい、何をしないかも重要

世の中には、たくさんの学習方法や教材に溢れており、たくさんのもに触れた方が合格につながると考えていました。ただ、学習時間には限りがあり、MMCの教材以外はやらないと割り切れたことが合格に近づけた要因だと感じています。

② 時間を意識する

試験時間は80分ですが、本番では何が起きるかわからないので、事例演習では70分で解くことを意識していました。ただ実際には解き終わるのに75分程度かかっていました。(本番も同じ時間感覚で解こうとしましたが、80分ぎりぎりかかりました。)

③ 信じること

さまざまな予備校を検討されていると思いますが、自分が最終的に選んだ予備校を信じて1年間走り切ることが重要だと思います。別の予備校の方が良かったのではないか、他の解きの方が合格点を狙えるのではないかなど考え出すとキリがありません。最終的に選んだ予備校の解き方を信じて学習することが合格につながると感じています。

また試験当日は、1年間学んできたことを信じて、試験に挑んでほしいと思います。

【おわりに】

予備校に通う最大のメリットは、自分の作成した文章を添削してもらえ、フィードバックを得られることだと感じております。受講を検討されている皆様も、MMCでは80分で合格点を取ることができるプロセスを身につけることが可能です。ぜひ受講を検討いただければと思います。

最後になりますが、最初の答練で最下位をとり、この状態から本当に合格できるのかと思いましたが、根気強く諦めずに学習できたのは、間違いなく先生方のおかげだと思います。徳

川先生をはじめ、MMCの先生方には、感謝の気持ちでいっぱいです。誠にありがとうございました。